

教科目名 日本史 (History of Japan)

学科名・学年 : 全学科 1年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45 時間)

担当教員 : 森本正憲

授業の概要			
(1) テーマごとに基本的な問題を提起する. (2) 近現代史に重点をおき, 技術の意義に留意する.			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 歴史における事実相互の関係を考え, それぞれの時代像を構築することができる. (定期試験とノート) (2) 平和で民主的な未来を築いていくための力を身に付ける. (定期試験とノート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	農耕社会の成立 古墳と大和政権 推古朝と飛鳥文化 律令国家の成立 摂関政治 荘園と武士 院政と平氏の台頭	○原始社会から国家形成への過程について理解できる ○律令国家体制について理解できる ○天皇を頂点とする貴族層による支配について理解できる ○大陸文化の導入と貴族的な都市文化の繁栄について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 鎌倉幕府の成立 執権政治 元寇と幕府の衰退 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 戦国大名の登場	○新興の武士勢力が次第に公家勢力をしのいでいったことを理解できる ○武士の支配としての封建制度について理解できる ○今日の日本文化の諸要素の形成について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	織豊政権 幕藩体制の成立 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 幕政の改革 幕府の衰退	○強固な中央集権的封建体制の完成について理解できる ○商業資本の著しい台頭について理解できる ○幕藩体制について理解できる ○近代への胎動について理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 明治維新と富国強兵 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦 戦後日本の出発 55 年体制 経済大国	○議会主義と資本主義について理解できる ○帝国主義について理解できる ○極端な軍部支配の時代について理解できる ○二つの世界大戦について理解できる ○民主主義的文化国家としての再出発について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	しっかり復習すること. ニュースに関心をもつこと.		【総合達成度】
教 科 書	石井進ほか著,『詳説日本史』, 山川出版社.		
参 考 図 書			
関 連 科 目	世界史 (2 年).		
総 合 評 価	中間試験後の評価は素点, 前期末の評価は試験の平均点、学年末の評価は試験の成績 80%, ノート 20%でおこなう.		【総合評価】 点